1日目

6年　季節の言葉　春
国語

学習した日
／　（　）

一　次の季節を表す言葉は何月何日ごろのことか、意味から考えて書きましょう。

① 立春（りっしゅん）…こよみのうえで、春が始まる日。まだ寒さはきびしいが、だんだん日がのび、木々が芽ぶいてくる。

二月四日ごろ

② 春分（しゅんぶん）…昼と夜の長さがほぼ等しくなる。これより後は、昼の時間が長くなっていく。

三月二十一日ごろ

③ 雨水（うすい）…ふる雪が雨に変わり、深く積もった雪も解け始める。このころから、早春の気配が感じられる。

二月十九日ごろ

④ 穀雨（こくう）…いろいろな穀物をうるおし、芽を出させる春の雨という意味。これを過ぎると夏が近づく。

四月二十日ごろ

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	電源	今晩	胸囲	態度	盛り	頭痛	翌朝	出勤	片づけ	危ない
なぞり書き	電源	今晩	胸囲	態度	盛り	頭痛	翌朝	出勤	片づけ	危ない
一回目練習										
二回目練習										

2日目

6年　主語・述語
国語

学習した日
／　（　）

一　次の文で、主語に一線、述語に二線をつけましょう。

①　犬は、森に　向かって　走り出した。

②　ふたりは、大きい　みかんを　食べた。

③　赤い　花びらが、　水面に　うかんだ。

④　美しいな、　富士山は。

⑤　父と母は、　もうすぐ　来る。

二　ひとつの文になるように、□の言葉をならべかえましょう。

①　（私は）、本を（読みます）。
　　読みます　私は

②　猫の（目は）、きらきら（光った）。
　　光った　目は

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	担当	視点	私語	密接	大脳	呼ぶ	呼吸	存在	時刻	映画館
なぞり書き	担当	視点	私語	密接	大脳	呼ぶ	呼吸	存在	時刻	映画館
一回目練習									表	映画館
二回目練習										

3日目

6年　和語・漢語・外来語
国語

学習した日
／　（　）

一　次の言葉を、和語・漢語・外来語に分類しましょう。

① （外来語）フライパン
② （漢語）感動
③ （和語）美しい
④ （漢語）公園
⑤ （漢語）和服
⑥ （和語）家
⑦ （漢語）開始
⑧ （外来語）カステラ
⑨ （和語）水やり
⑩ （漢語）原野
⑪ （和語）品物
⑫ （外来語）カメラ
⑬ （漢語）学校
⑭ （和語）考え
⑮ （漢語）休日

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	感激	簡単	災難	段落	検討	結論	否定	役割	勉強	解決策
なぞり書き	感激	簡単	災難	段落	検討	結論	否定	役割	勉強	解決策
一回目練習									勉強	解決策
二回目練習									机	机

4日目

6年　文末表現
国語

学習した日
／　（　）

一　次の文の（　　）に過去・現在・未来を書きましょう。

① 今、宿題をしている。（現在）
② 昨日、宿題をした。（過去）
③ 明日、宿題をするだろう。（未来）
④ 雨が降った。（過去）
⑤ 雨が降っている。（現在）
⑥ 雨が降るだろう。（未来）

二　「遊ぶ」を変化させ、過去・現在・未来の文にしましょう。

① 昨日、私は、あきら君と（遊んだ　　）。
② 今日、私は、あきら君と（遊ぶ　　）。
③ 明日、私は、あきら君と（遊ぶだろう　　）。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	食欲	除く	専用	取捨	五班	座席	至急	我々	開幕	警備
なぞり書き	食欲	除く	専用	取捨	五班	座席	至急	我々	開幕	警備
一回目練習									戦	員
二回目練習										

5日目

6年　同音異義語
国語

学習した日
／　（　）

一　次の□に、正しいじゅく語を書きましょう。

①いし
ア　□意志の強い人。
イ　□医師が手術する。

②こうか
ア　□校歌の合唱。
イ　□高価な品物。
ウ　□効果的な方法。

③あつい
ア　□暑い夏。
イ　□熱いお湯。
ウ　□厚い紙。

④やぶれる
ア　紙が□破れる。
イ　試合に□敗れる。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	県庁	蒸気	対処	就職	干満	乳児	従順	裁判	洗面器	城下町
なぞり書き	県庁	蒸気	対処	就職	干満	乳児	従順	裁判	洗面器	城下町
一回目練習										
二回目練習										

6日目

6年　主語・修飾語
国語

学習した日
／　（　）

一　次の文で、主語に一線を、修飾語に＝線をつけましょう。

① わたしは、友だちと　遊んだ。
② 犬が、公園で　走った。
③ 花が、きれいに　さいた。
④ 太陽が、東から　のぼる。
⑤ うさぎが、えさを　食べる。
⑥ 音楽室から、歌声が　聞こえた。
⑦ はりの　あなは、小さい。
⑧ ゾウは、大きな　動物です。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	心臓	冊子	地域	風潮	砂地	樹林	沿岸	垂直	肺活量	暮れる
なぞり書き	心臓	冊子	地域	風潮	砂地	樹林	沿岸	垂直	肺活量	暮れる
一回目練習										
二回目練習										

7日目

6年　和語・漢語
国語

学習した日
／　（　）

一　次の言葉の和語と漢語の読み方を書きましょう。

① 生物　和語（なまもの）　漢語（せいぶつ）
② 風車　和語（かざぐるま）　漢語（ふうしゃ）
③ 色紙　和語（いろがみ）　漢語（しきし）
④ 大家　和語（おおや）　漢語（たいか）
⑤ 年月　和語（としつき）　漢語（ねんげつ）
⑥ 人気　和語（ひとけ）　漢語（にんき）
⑦ 梅雨　和語（つゆ）　漢語（ばいう）
⑧ 昨日　和語（きのう）　漢語（さくじつ）
⑨ 根本　和語（ねもと）　漢語（こんぽん）
⑩ 初日　和語（はつひ）　漢語（しょにち）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	穴場	鉄骨	厳守	国宝	探検	展示	訪問	推理	優先	一覧
なぞり書き	穴場	鉄骨	厳守	国宝	探検	展示	訪問	推理	優先	一覧
一回目練習									席	表
二回目練習										

8日目

6年　短文作成
国語

学習した日
／　（　）

一　それぞれの語句を用いて、主語・述語が入った文章を作成しましょう。

【例】「目の敵」なにかにつけてにくく思うこと。
（解答）ひろし君はたかし君から目の敵にされている。

①「四苦八苦」ひどい苦しみ。たいへんな苦労。

例　私は、重い荷物に四苦八苦する。

②「つかの間」ほんの少しの間。

例　彼は、つかの間の休息をとった。

③「まぎれる」入りまじってわからなくなる。

例　彼女が、人ごみにまぎれる。

④「ゆだねる」まかせる

例　委員会の仕事を、五年生にゆだねる。

---

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	裏門	誤字	憲章	数値	源流	朝晩	胸部	片道	大盛り	勤める
なぞり書き	裏門	誤字	憲章	数値	源流	朝晩	胸部	片道	大盛り	勤める
一回目練習										
二回目練習										

9日目

6年　敬語
国語

学習した日
／　（　）

一　―の言葉を敬語に直しましょう。

①　先生の子どものころの夢を聞きました。
（うかがいました）

②　ゲストティーチャーの言うことをメモする。
（おっしゃること）

③　社長はもう帰りました。
（お帰りになりました）

④　近所の方からおみやげをもらった。
（いただいた）

⑤　明日、お宅に行きます。
（うかがいます）

⑥　どうぞたくさん食べてください。
（めしあがってください）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	痛手	翌週	勤務	危機	疑問	担任	視野	私事	晴れ姿	吸い物
なぞり書き	痛手	翌週	勤務	危機	疑問	担任	視野	私事	晴れ姿	吸い物
一回目練習										
二回目練習										

10日目

6年　文末表現
国語

学習した日
／　（　）

一　次の文は、ア～カのどれにあたるか記号で答えましょう。

ア　打消し　　イ　質問・疑問
ウ　命令　　エ　可能
オ　希望　　カ　伝聞

①　早く春になってほしい。　（オ）
②　明子さんはけがをしていない。　（ア）
③　誰が片づけをしますか。　（イ）
④　もっとしっかり練習せよ。　（ウ）
⑤　サッカー選手になりたい。　（オ）
⑥　私は、絵を上手にかける。　（エ）
⑦　クジラは魚ですか。　（イ）
⑧　昨日、地震があったそうだ。　（カ）

---

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	密度	頭脳	保存	一刻	急激	映像	簡潔	難解	呼び声	学習机
なぞり書き	密度	頭脳	保存	一刻	急激	映像	簡潔	難解	呼び声	学習机
一回目練習										
二回目練習										

11日目

6年　季節の言葉　夏
国語

学習した日
／　（　）

一　次の季節を表す言葉は何月何日ごろのことか、意味から考えて書きましょう。

①立夏（りっか）…こよみのうえで、夏が始まる日。新緑や若葉に、夏の気配が感じられるようになる。

五月六日　ごろ

②夏至（げし）…一年の中で、昼が最も長く、夜が最も短い日。昔のこよみでは、夏の真ん中とされた。

六月二十一日　ごろ

③小満（しょうまん）…立夏から十五日目に当たる。陽気がさかんとなり、草木が成長して満ちてくるという意味。

五月二十一日　ごろ

④小暑（しょうしょ）…つゆが終わりに近づく。この日から「暑中」に入り、暑さが増してくる。

七月七日　ごろ

---

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	手段	討議	論文	否決	策略	割合	欲望	除外	専門	座談会
なぞり書き	手段	討議	論文	否決	策略	割合	欲望	除外	専門	座談会
一回目練習									店	座談会
二回目練習										

12日目

6年　主語・述語
国語

学習した日
／　（　）

一　次の文の（　）に、記号を書きましょう。

（ア）主語　（イ）述語
（ウ）修飾語　（エ）接続語

①　空は、（ア）赤々と（ウ）あかね色に（イ）そまった。

②　花は（ア）さき、（イ）鳥は（ア）さえずる。（イ）

③　月が（ア）出ました。（イ）しかし、（エ）すぐに（ウ）真っ黒な（ア）雲が（イ）かかりました。（ウ）

④　雨が（ア）降ってきた。（イ）そのうえ、（エ）風も（ア）出てきた。（イ）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	班長	至難	我ら	暗幕	警察	洗練	処理	就任	捨てる	気象庁
なぞり書き	班長	至難	我ら	暗幕	警察	洗練	処理	就任	捨てる	気象庁
一回目練習										
二回目練習										

13日目

6年　同音異義語
国語

学習した日
／　（　）

一　次の各文の□にあてはまる漢字を、（　　）から選びましょう

(1)　（刊・肝・干・幹・汗）

①　毎週発売される週□誌。

②　この海は、□満の差が大きい。

③　新□線で京都に出かける。

(2)　（故・古・湖・個・固）

①　ひさしぶりに□郷に帰る。

②　□人と団体競技の両方に出る。

③　□体が液体になる。

---

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	母乳	城主	従来	裁断	内臓	臓物	肺臓	冊数	蒸気船	梅干し
なぞり書き	母乳	城主	従来	裁断	内臓	臓物	肺臓	冊数	蒸気船	梅干し
一回目練習										
二回目練習										

14日目

6年　敬語
国語

学習した日
／　（　）

一　―の言葉を敬語に直し、□に文を書き直しましょう。

① 少し待って。
　お待ちください。

② 先生が、映画を見る。
　ごらんになる。

③ 校長先生が話す。
　お話しになる。
　話される。

④ 私の考えを言います。
　申し上げます。

⑤ お客様を見送る。
　お見送りする。

---

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	流域	潮風	樹液	沿道	垂線	穴倉	骨折	厳重	砂時計	夕暮れ
なぞり書き	流域	潮風	樹液	沿道	垂線	穴倉	骨折	厳重	砂時計	夕暮れ
一回目練習										

15日目

6年　同音異義語
国語

学習した日
／　（　）

一　次の□に、正しいじゅく語を書きましょう。

①いがい
ア　意外　な結果。
イ　それ　以外　方法がない。

②いぎ
ア　意義　のある仕事。
イ　異議　をとなえる。

③いじょう
ア　六年生　以上　が参加。
イ　今日は　異常　な暑さだ。
ウ　何も　異状　はない。

④しゅうかん
ア　週刊　誌。
イ　早起きの　習慣　。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	宝物	発展	来訪	推定	優勝	回覧	裏口	誤差	探し物	平均値
なぞり書き	宝物	発展	来訪	推定	優勝	回覧	裏口	誤差	探し物	平均値
一回目練習										
二回目練習										

16日目

6年　言葉の意味
国語

学習した日
／　（　）

一　次の言葉の意味を、□から選びましょう。

①先手を打たれる（イ）⑥思わず（ケ）
②そっぽを向く（エ）⑦密接（カ）
③傾向（ア）⑧ペース（コ）
④肯定（キ）⑨否定（ウ）
⑤説得力（ク）⑩不意に（オ）

ア　きざし、気配
イ　相手に先に行動にでられること
ウ　打ち消す事。認めないこと。
エ　よそを向いて無視をする
オ　想定していない
カ　関係が強いこと
キ　正しく適切であると認めること
ク　相手を納得させる力
ケ　意識せずに
コ　速度、進み具合

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	起源	毎晩	度胸	苦痛	翌年	通勤	危急	質疑	片すみ	後ろ姿
なぞり書き	起源	毎晩	度胸	苦痛	翌年	通勤	危急	質疑	片すみ	後ろ姿
一回目練習										
二回目練習										

17日目

6年　文章表現
国語

学習した日
／　（　）

一　（　）に入る言葉を、□から選んで書きましょう。

①すねて（そっぽを）向いた。
②びっくりして（きょとんとした）顔になる。
③晴れて（すがすがしい）朝だ。
④きりの奥に山が（ぼんやり）見える。
⑤遠くから（かすかに）水の音が聞こえる。
⑥小さな音に耳を（そばだてる）。
⑦山は（さまざまな）表情を見せてくれる。
⑧岩は（びっしりと）コケにおおわれている。

ぼんやり　・　・　さまざまな
そっぽを　・　・　びっしりと
かすかに　・　・　すがすがしい
きょとんとした　・　そばだてる

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	加担	重視	私用	密着	脳波	連呼	吸着	生存	小刻み	討ばつ
なぞり書き	加担	重視	私用	密着	脳波	連呼	吸着	生存	小刻み	討ばつ
一回目練習										
二回目練習										

18日目

6年　同音異義語
国語

学習した日
／　（　）

一　次の各文の□にあてはまる漢字を、（　）から選びましょう。

(1)（化・貨・花）

① 警備を強□する。

② 公園の桜が開□した。

③ □物列車が走る。

(2)（清・晴・静・青）

① □潔なタオル。

② 冷□な判断をする。

③ 彼は気のいい□年だ。

④ 遠足は□天になった。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	激流	反映	書簡	苦難	石段	論理	賛否	方策	割り算	欲張り
なぞり書き	激流	反映	書簡	苦難	石段	論理	賛否	方策	割り算	欲張り
一回目練習										
二回目練習										

19日目

6年　原稿用紙の使い方
国語

学習した日
／　（　）

一　次の文章を、原稿用紙の使い方に従って書きましょう。また、仮名遣いに誤りがあれば、正しく書き改めましょう。

努力すること
六年一組　木村　あい
「やりはぢめたことは、三年はつずけなさい。」と父が言う。私が塾をやめたいと言い出した時だ。私は勉強ずくえの上の問題集を取って父に言った。「むづかしすぎて、私にはついていくぢしんがない。」「歯をくいしばってがんばっていれば、いつか底ぢからが発揮できるようになるものだ。」と父が言った。

努力すること
六年一組　木村　あい
「やりはじめたことは、三年はつづけなさい。」と父が言う。私が塾をやめたいと言い出した時だ。私は勉強づくえの上の問題集を取って父に言った。「むずかしすぎて、私にはついていくじしんがない。」「歯をくいしばってがんばっていれば、いつか底ぢからが発揮できるようになるものだ。」と父が言った。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	除去	専属	班別	口座	冬至	字幕	警護	登庁	我れ先	水蒸気
なぞり書き	除去	専属	班別	口座	冬至	字幕	警護	登庁	我れ先	水蒸気
一回目練習										
二回目練習										

20日目

6年　ことわざ
国語

学習した日
／　（　）

一　次のことわざに合う漢数字を書きましょう。また、意味を選んで（　）に書きましょう。

①一事が万事　（エ）
②十人十色　（ウ）
③早起きは三文の得　（ア）
④百聞は一見にしかず　（イ）
⑤一石二鳥　（ク）
⑥七転び八起き　（オ）
⑦五十歩百歩　（カ）
⑧九死に一生を得る　（キ）

ア　朝早く起きるといいことがある
イ　何回も聞くより、一度見るとよくわかる
ウ　考え方や好き嫌いは一人ひとり違う
エ　一つのことがほかの全部に当てはまる
オ　何回も失敗してもあきらめずにがんばる
カ　少しの違いはあってもほとんど同じこと
キ　死ぬかと思うところを助かる
ク　一つのことをして二つの得をする

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
読み	処方	就航	干害	築城	従事	独裁	臓器	分冊	手洗い	乳製品
なぞり書き	処方	就航	干害	築城	従事	独裁	臓器	分冊	手洗い	乳製品
一回目練習										
二回目練習										